

## 第1回外国人旅行者接遇研修会「おもてなし講座」

# LGBTツーリズムセミナー

## LGBTを呼び込もう！ LGBTツーリズム&英語講座！

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け訪日外国人旅行者数が増加の一途をたどっている中、LGBT（性的少数者）を対象にした観光が注目されています。そのグローバル市場は約23兆円にも及ぶといわれます。LGBTツーリズムとは何か、知識やノウハウ、おもてなし例などを学び、日本最大級の観光地・台東区からLGBTを受け入れる環境を整えましょう！

### 第1部(午後2時～)

## LGBTツーリズムとは



■講師

小泉 伸太郎 (こいずみ しんたろう)

1968年東京都生まれ。立教大学卒業。ホテル、スキーリゾート開発会社等での20年のインバウンド経験を活かし、LGBTフレンドリーなランドオペレータ「Out Asia Travel」を設立。LGBT旅行者の日本旅行手配にて多くの知見を持つ。また、IGLTA（国際ゲイ・レズビアン旅行協会）のアジアアンバサダーもつとめており、日本人として初めて「Ambassador of the year 2016」を受賞。

### 第2部(午後3時～)

## LGBT客向け接客 ならびに英語講座



■講師

Joe Futatsuya (じょー ふたつや)

幼少より日本、フィリピン、ドバイ、アメリカなど、多国籍・多文化社会で生活をし、米国ジョンソン&ウェールズ大学卒業後、ポストンの飲食店や東京都内のホテルのマネジメントの経験を持つ。

8月17日(土)午後2時～4時

台東区役所 1003会議室

どなたでも参加可能(主に宿泊・飲食事業者向け)

参加費**無料**(定員100名・申込み不要・先着順)



回  
覧

第2回外国人旅行客接遇研修会「おもてなし講座」

## いま注目のスタディツアー！リピーターを生むメソッド

9月21日(土)午前10時～正午 台東区役所 1003会議室

モノ消費がひと回りし、コト消費、ことに日本へのスタディツアー（教育旅行）が注目されています。

印象的なスタディツアー経験は、個人ばかりでなく団体のリピーターにつながります。スタディツアーとは何か、その現状や可能性について学びます。

第1部（午前10時～）：スタディツアー受入れについて学ぶ

第2部（午前11時～）：スタディツアーとしての日本文化体験



講師：舛谷 鋭（ますたに さとし）

立教大学観光学部教授。観光文学研究、地域研究（東南アジア）。前回東京オリンピックの頃、東京に生まれる。早稲田大学を経て前世紀末から立教大学で教鞭を執る。マラヤ大学、南洋理工大学など、東南アジアの大学での教歴を活かし、国際的なスタディツアーを企画、実施している。共著に『大学的東京ガイド』（昭和堂）など。

ゲスト：土田 大樹 スタディツアーコンサルタント

どなたでも参加可能

参加費**無料**

（定員**100**名・申込み不要・先着順）



第3回外国人旅行客接遇研修会「おもてなし講座」～実践編～

## まちの魅力を再発見！旅行者気分でまち歩き

9月28日(土)午前10時～正午 浅草文化観光センター及びその周辺

パッケージツアーを利用しない外国人個人旅行者に対して、歴史的・文化的・文学的な史跡等をどのように紹介できるのか、実際に浅草周辺を歩きながらいつもとは少し違った視点で考えてみませんか？

「観光」ということばは、『易経』の「国の光を観る」が語源です。これは、旅行者が旅先の魅力を観ることですが、そこに住まうわたしたちもまちの魅力とは一体何なのかを改めて考え、地域への誇り（シビック・プライド）を持ち、より魅力的でおもてなし意識あふれるまちにしていきたいと思います。



講師：石橋 正孝（いしばし まさたか）

立教大学観光学部准教授。長嶋茂雄が引退した年に横浜で生まれる。専門はヴェルヌを中心とする19世紀フランス文学で、特に旅をめぐる想像力とテクノロジーの関係を研究。兼任講師を含めれば、立教大学での教歴は今年で十年目。著書に『〈驚異の旅〉または出版をめぐる冒険』（左右社）、訳書にヴェルヌ『地球から月へ他』（インスクリプト）など。



ゲスト：羽生 敦子 立教大学観光研究所

定員**20**名（要申込み・先着順）

申込み方法：参加者氏名・人数・電話番号を電話又はメールでご連絡ください。

■電話 03-5246-1447

■メール taito-omotenashi@city.taito.tokyo.jp

※フリーアドレスは受信できませんので、予めご了承ください。

### ■集合場所

浅草文化観光センター 5階大会議室  
（台東区雷門2-18-9）

